

2013年 1月 7日

トヨタ自動車東日本(株) 社長年頭挨拶 (要旨)

トヨタ自動車東日本株式会社は、1月7日(月)、本社・宮城大衡工場にて、社長の白根より従業員へ年頭挨拶を行いました。つきましては、挨拶の要旨をご案内申し上げます。

— 記 —

我々が任されたコンパクト車の市場は、グローバルでは大きく成長が見込まれ、競合メーカーが新興国を中心に地域ニーズを反映した商品を投入し競争が激化。一時の超円高は緩みつつあるが、輸出に頼らず生産台数を引き上げ、我々が生き残っていくためには、国内で競合他車を圧倒的に凌駕するモデルを投入していかなければならない。

そのためにはお客様の心をとらえる魅力あるクルマの提案と、リーズナブルな価格で提供できるコスト競争力向上に取組み、国内コンパクト車市場でのシェアアップを図っていくことが我々の使命であることを強く認識し、目指す姿の実現に向けて次の2本柱の取組みを進めていきたい。

1. コンパクト車の専門集団としての力を高める

- 企画・提案力を高めるためのお客様を知る活動を、東北だけでなく他の地域にも拡大し、お客様のニーズに対応する商品をすばやく企画し、拡販策につなげていくこと。
- 開発機能の強化について、担当領域を広め、スピーディーにクルマ全体をまとめることが出来るよう、技術習得と人脈づくりを進めること。
- 東北の現地調達率向上について、一次仕入先と連携し、地場企業との相互研鑽の仕組みをつくること。

2. ものづくり改革の推進

- 需要変動にスピーディーに対応するため、「からくり」や「設備改革」を進め、工場間でのノウハウの共有化、人材交流などハードとソフト両面から生産対応の柔軟性を高めていくこと。
- 本年1月から車両3工場に新設した「ものづくり改革室」を中心に、現場に密着した技術開発や改善等の実用化の加速を図ること。

これらの取組みを通じ、いつの時代も私達が、そして日本が、一步先を行くクルマづくりで世界をリードし、日本のものづくりを守り、常に海外拠点のお手本となり続けていきたいと思う。

そのためには、人の成長「人材育成」が絶対に必要。一人ひとりが関係部署や機能間の繋がりを理解した上で、自分のやるべきことを判断し、上下左右・機能間をすばやいレスポンスで繋げ、進めることができる人材が次々に育つ職場環境が大切。

人はスピード感や一体感のある環境でこそ育つ。現地現物で、職場の仲間と共に課題をスピーディーに解決できる環境づくりと、OJTを心がけること。

我々はコンパクトな会社の規模を活かし、クイックレスポンスの中で早い方向付け、早い決断を緊張感を持って進めること。また今一度全員が原点に立ち返り、「**東北を基盤に世界一の競争力を持つ魅力あるコンパクト車をつくる**」という目指す姿と、「**お客様本位**」、「**ともに**」という行動スローガンを忘れることなく、新たなステップを踏み出していけるよう、一つひとつの取組みに全社一丸となって取り組んでいきたい。

以上